

嵐山町共同学校 事務室だより 第1号

嵐山町共同学校事務室
@玉ノ岡中学校
TEL:0493(62)2305
令和6年3月1日発行

嵐山町共同学校事務室とは

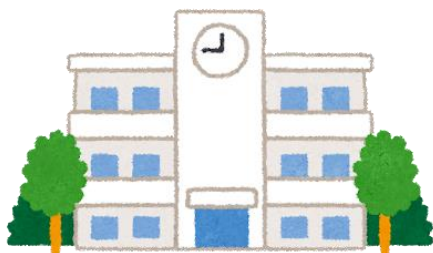
嵐山町では、小中学校の運営に係る事務を効率的・効果的に推進するために、共同で作業を行う共同学校事務室を設置しています。場所は玉ノ岡中学校内に設けられ、各学校の事務職員が週に1~2回の勤務を行うとともに、オンラインでも話し合いや作業などを行っています。

学校を運営していくために不可欠な予算のマネジメントから、施設・設備や、先生方の給料の管理、就学援助に係る手続きなど、幅広い業務を担当しています。

各学校の事務職員は若手からベテランまで幅広く、一人ひとり得意とする分野も異なりまして、

経験の差による力量の違いもあります。それを組織として対応することで補い合い、一定のサービスを担保するとともに、より高度なサービスをも提供できるように努めています。

保護者の皆様とはなかなか交流はありませんが、学校生活や就学に係わることなど、何か疑問がありましたらお気軽にお尋ねください。



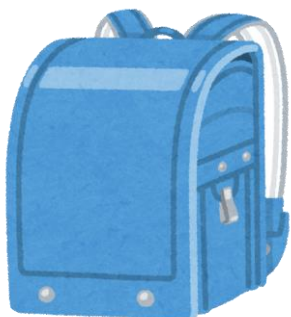
就学援助制度について

ご存じでしょうか、日本の子どもの11.5%(令和5年)が貧困状態にあるということ。子どもたちが経済的な要因で、夢の実現に格差を生むようなことがあってはいけません。その対策のひとつとして設けられているものが就学援助制度です。

本制度は小・中学校に通う子どもが学校で等しく学ぶことができるよう、保護者の皆様へ向けて給食費やその他の費用の援助を行うものです。学校教育法第19条においても、「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない」と定められています。

この法に基づき嵐山町でも実施しています。なお、補助対象費目は「学用品費、新入学児童生徒学用品費等、通学用品費、修学旅行費、校外活動費、学校給食費、生徒会費、PTA会費、保険費(スポーツ振興センター掛金)」となっております。申請用紙は教育委員会教育総務課窓口で配布されていますが、下に示した嵐山町ホームページでダウンロードすることもできます。申請方法や用紙への記入について疑問等がある場合は、事務職員が相談を受けることも可能ですので、ぜひお声がけください。

子どもの笑顔の先に、豊かな未来が築かれるはず。その未来を担う子どもたちの健やかな成長を支援する就学援助制度への理解を深めていただければ幸いです。



文部科学省
就学支援制度について
(就学支援ポータルサイト)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05010502/017.htm

嵐山町ホームページ
申請様式はこちらから
ダウンロードができます

<https://www.town.ranzan.saitama.jp/0000005926.html>





1人1台タブレット



令和元年12月に、児童生徒向けの一人一台端末と高速大容量のネットワークを一体的に整備し、子どもたちを誰一人取り残すことなく、個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させるためにGIGAスクール構想が閣議決定されました。それを経て、嵐山町の子どもたちにも1人1台のタブレット端末が配布(貸与)されました。

これからの時代は人とモノが繋がり、様々な情報や知識が共有され、新たな価値を見つけ生み出す力が求められます。その中で生き抜いていくためには、学校でもICTを活用し、子どもたちが社会に出て活躍するために必要な力を身につけることが求められています。

ところで、タブレット学習と聞くとタブレットそのものの使い方を身につけることが目的ではないかと思われるかもしれませんが、本当に求められているのはタブレットを活用して学習する力を身につけることです。計算するときや作文を書くときに鉛筆やノートなどを使いますよね。タブレットも筆記用具等と同様に学習時に使用するツールのひとつなのです。今後、授業でも家庭学習でも一層活用されることになるでしょう。そのためには、適切・安全に活用していけるようネットリテラシーなども身につけることが大切です。子どもたちが安全に日々の学習に活用できるよう、大人も一緒に学んでいければと思います。



大谷翔平選手からのグローブ



現在、メジャーリーグのロサンゼルス・ドジャースに所属する大谷翔平選手が全国2万の小学校に贈ってくださった、あの「大谷翔平グローブ」が嵐山町の小学校にも届きました。

各小学校へ届いた3つのジュニア用野球グローブ(右利き用2個、

左利き用1個)は、茶と黒の2色の革を白い革紐やパイピングで組み合わせて作られています。素材は合成皮革でとても軽く、触った感触はふかふかするような、ほどよい厚みと柔らかさがあります。これならグローブを開閉する際もさほど力がかからず、低学年の子でも使いやすそうです。また、手の平の部分にはメーカーロゴがあり、小指の部分に大谷選手のサインが印刷されています。

さらには、大谷翔平選手からの手紙も添えられていました。

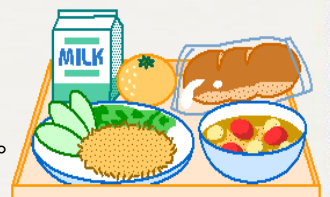
この手紙には『私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。』と綴られていました。

各学校でお披露目会やクラスごとに回覧するなど、子どもたちはこのグローブをみて、大谷翔平選手から贈られてきた嬉しさと、みんなで野球ができる楽しみで笑顔いっぱいでした。このシンボルとなるグローブは、子どもたちに勇気や夢を与えてくれる素敵な贈り物となりました。



『嵐山町の給食』

給食の様子や、日々の献立をたてる工夫などについて、栄養教諭の奥田先生からお話を伺いました。ぜひQRコードを読み込んでご覧ください！



https://townranzansaitama-my.sharepoint.com/:b/g/personal/t0464_ranzan_sas_ed_ip/UrIuhDrKRRNs98v5623GXcBBwYYXds3GnTKeZiQ18qgsQ?e=DMDHe3